

平成 21 年度

決算 7 会計を認定



※財政指標の見方は 15 ページを御覧下さい

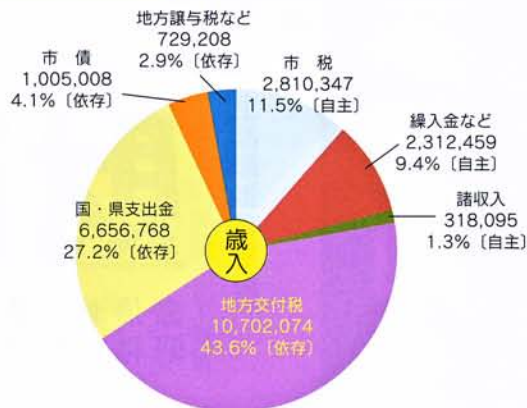
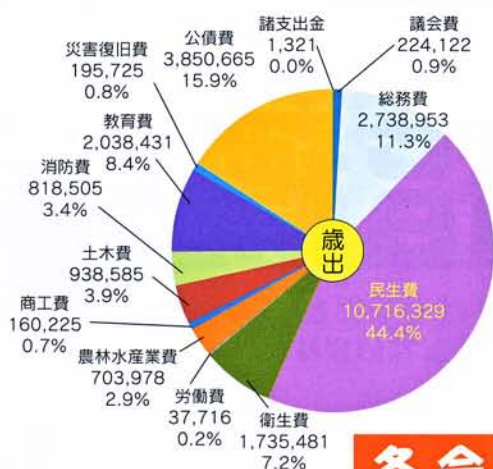
決算特別委員会において、平成 21 年度の一般会計ほか 6 会計の決算審査を行いました。

一般会計においては、歳入総額 245 億 3396 万円、歳出総額 241 億 6003 万円とし、歳入歳出差引額は、3 億 7392 万円、うち 1 億 4000 万円は基金に繰り入れます。

市の財政状況としては、市税などの自主財源が 22・2%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が 77・8%と、他に頼った自治体運営となっておりますが、經常収支比率が 101・1%、財政力指数が 0・276 ポイントと、前年度より若干悪化した結果となりました。

審査の結果、8 会計とも出席者全員をもって認定されました。

一般会計決算の状況



各会計の決算額

	歳入	歳出	差引額	
一般会計	245億3,396万円	231億6,004万円	3億7,392万円	
国民健康保険事業特別会計	52億8,761万円	54億6,059万円	△1億7,298万円	
老人保健事業特別会計	7,505万円	2,535万円	4,970万円	
後期高齢者医療特別会計	5億5,269万円	5億3,651万円	1,618万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	3億2,441万円	3億1,771万円	670万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億2,295万円	52億5,519万円	6,776万円
	サービス事業勘定	5,059万円	5,059万円	0
水道事業会計	7億7,841万円	10億1,337万円	△2億3,496万円	